

# 精神保健福祉センター一報

令和5年度

奈良県精神保健福祉センター

# 目 次

1	職 員	2
2	精神保健福祉相談	2
3	教 育 研 修	4
4	普 及 啓 発	5
5	自 殺 対 策	5
6	依 存 症 対 策	9
7	災 害 対 策	10
8	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築	11
9	精神医療審査会事務	12
10	技 術 支 援	13
11	精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院）の判定	14

# 1 職 員

令和6年3月31日現在

職 種 区 分	医 師	事 務	精神保 健福祉 相談員	心 理 判定員	電 話 相談員	保健師	合 計
職 員	2 [内兼務1]	7 (5)	2	1	1 (1)	2 (1)	15 (7)

\* ( ) は会計年度任用職員

## 2 精神保健福祉相談

精神保健福祉センターでは、電話や面接による精神保健福祉に関する相談支援を実施しています。  
令和5年度における精神保健福祉相談実績延べ件数は、表1から表7のとおりです。

表1 相談内訳

	件数	%
所内相談	89	20.9
電話相談	336	79.1
訪問相談	0	0.0
計	425	100.0

表2 利用状況

	件数	%
新 規	277	65.2
継 続	148	34.8
計	425	100.0

表3 相談者

	件数	%
本 人	220	51.8
家 族	156	36.7
本人家族	10	2.4
その他	39	9.2
計	425	100.0

表4 相談経路

	件数	%
医療機関	7	1.6
保健所	0	0.0
市町村	6	1.4
関係機関	151	35.5
センターホームページ	52	12.2
広報	3	0.7
一般情報	175	41.2
その他不明	31	7.4
計	425	100.0

表5 年齢別・性別

性別 年齢	男		女	
	件数	%	件数	%
10歳未満	1	0.3	0	0.0
10～19歳	11	3.5	15	14.1
20～29歳	49	15.5	18	17.0
30～39歳	38	12.0	18	17.0
40～49歳	40	12.7	18	17.0
50～59歳	21	6.6	13	12.3
60～69歳	128	40.5	4	3.8
70歳以上	6	1.9	7	6.6
不明	22	7.0	13	12.2
計 ※	316	100.0	106	100.0

(※)性別不明3件を除く

表6 相談内容

	件数	%
精神疾患に関すること	118	27.8
老人精神保健に関すること	6	1.4
社会復帰に関すること	1	0.2
アルコール依存に関すること	5	1.2
薬物依存に関すること	123	28.9
ギャンブル依存に関すること	94	22.1
ネット・ゲーム依存	3	0.7
思春期に関すること	11	2.6
心の健康づくりに関すること	10	2.4
うつ・うつ状態に関すること	6	1.4
摂食障害に関すること	11	2.6
てんかんに関すること	0	0
その他	37	8.7
計	425	100.0

表7 対応内容

	件数	%
傾聴・助言	314	74.0
情報提供	35	8.2
他機関紹介	1	0.2
センター来所予約	75	17.6
計	425	100.0

### 3 教育研修

県内関係諸機関の精神保健福祉業務に従事する各職種に対して、精神保健福祉に関する専門的知識と技術向上を図るため、研修会及び連絡会議等を開催しています。

研修名	内容	講師	参加者数	実施日
自殺未遂者支援研修会（基礎編）	「死にたい」と言われたら	ハートランドしぎさん 院長 徳山 明広 氏	95名	令和5年 8月24日
第1回精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの推進研修会（共催）	① 精神科の入院及び奈良県の精神保健対策 ② 精神保健福祉法改正にかかる市町村の役割 ③ 精神疾患の基礎知識	① 吉野保健所 相談員 ② 疾病対策課 相談員・南和カンファレンスチーム 保健師 ③ 精神保健福祉センター 精神科医師	会場 30名 Web 16名	令和5年 11月6日
自殺未遂者支援研修会（学校編）	「死にたい」という子どもの理解	ハートランドしぎさん 副院長 根来 秀樹 氏	61名	令和5年 11月10日
医療機関向け精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた連絡会	① 精神保健福祉法の令和6年度施行について ② 措置入院者等退院後支援の現状と今後の取組について ③ 情報交換会	① 精神保健福祉センター 相談員 ② 中和保健所 相談員 ③ やまと精神医療センター 前田 智 氏 県立医科大学付属病院 有田 恵亮 氏	41名	令和5年 11月20日
自殺対策担当者人材育成研修会	① 生きるを支援する～全庁的に取り組む自殺対策とは～ ② 庁内連携の実践事例 ③ グループワーク「よりよい庁内連携を目指して」	① 関西大学大学院心理学研究科 教授 石田 陽彦 氏 ② 大和高田市健康増進課 下村ゆうき氏 ③ 精神保健福祉センター 職員	19名	令和5年 12月8日
第2回精神障害にも対応した地域包括推進ケアシステムの推進研修会（共催）	① 地域カンファレンス支援チームの活動及び今後の取組について ② 「精神疾患の理解と介入の基礎」 ③ 「アルコール依存症の理解と介入の基礎」 ④ 事例検討	① 地域包括ケア推進室 ② 訪問看護ステーション Irie 鈴木 啓介 氏 ③ 植松クリニック・多機能型事業所ぽけっと 大本 淳 氏 ④ 精神保健福祉センター 医師	38名	令和6年 2月29日
依存症対策研修会	① 奈良県精神保健福祉センターでの取組 ② 依存症への理解を深める	① 精神保健福祉センター心理判定員 ② 大阪精神医療センター司法精神医学診療部診療主任 入来 晃久 氏	24名	令和6年 3月7日

## 4 普及・啓発

県内関係諸機関において精神保健福祉に関する知識等を啓発しています。

### ゲートキーパーパネル展示

広く県民にゲートキーパーや自殺対策についての理解を深めてもらうことを目的とし、以下のとおり、ゲートキーパーパネル展示等を行いました。

実施日・会場	令和5年9月5日～10日 奈良県図書情報館
実施日・会場	令和6年3月18日～28日 県政情報サロン（奈良県産業会館）
内 容	・ゲートキーパーに関するパネルの掲示（10枚） ・普及啓発グッズ（ティッシュ、A4ファイル、ならこころのホットライン啓発カード、リーフレット）の配布

## 5 自殺対策事業

奈良県では、平成29年度に誰も自殺に追い込まれることのない「健康な心で暮らしやすい奈良県」を実現するために「奈良県自殺対策計画」を策定しました。本計画に基づき、平成30年4月に「奈良県自殺対策支援センター」を設置し、行政や関係機関、民間団体などが連携を図りつつ、保健、医療、福祉、教育、労働、法律等に関わる総合的な取り組みを実践し、地域の実情に応じたきめ細やかで効果的な対策を実施していきます。

### (1) 相談事業

#### ① 電話相談「なら こころのホットライン」（開設時間：平日9:00～16:00）

平成22年1月より専用回線「なら 自死遺族・こころのホットライン」を設置し、自死遺族のためのこころの相談を開始しました。平成22年4月からは自殺予防として「死にたい」と思うほどのつらい気持ちを抱えた方にも対象を拡げて電話相談を実施しています。

	自死遺族	自殺予防	合計
相談延べ件数	15	1,918	1,933

#### ② 面接相談

面接による、自殺予防相談、自死遺族相談を実施しています。

	自死遺族	自殺予防	合計
相談者数	3	0	3
相談延べ件数	19	0	19

#### ③ 自死遺族への支援

自死遺族の方からの電話では、自助グループや当センターでの自死遺族支援に関する情報提供を求めて、電話をかけてこられる方がたくさんおられます。当センターでは、自死遺族の方に対する面接を行っています。また、奇数月第2月曜日に、「奈良いのちの電話」が行う自死遺族支援「よりそいの会あかり」の“グリーフスペースさくらい”を、自死のご遺族同士が語り合う場として提供しています。

※自死遺族支援“よりそいの会あかり”については[http://www.nara-inochi.jp/ml\\_6\\_1.html](http://www.nara-inochi.jp/ml_6_1.html)を参照下さい。

④ ハローワークでほっとコーナー

ハローワーク2か所で、週1回弁護士を派遣し、こころの相談を実施しています。

	実施時期	相談者数
ハローワーク奈良	金曜日 13:00～16:30	92
ハローワーク大和高田	水曜日 13:00～16:30	76

(2) ゲートキーパー養成講座

①市町村別ゲートキーパー養成講座開催状況

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人のこころの変調に「気づき」、話しを「聴き」、必要な支援に「つなぐ」、そして地域で「見守る」役割を担うゲートキーパーを養成し、地域における自殺対策を強化することを目的に、市町村が主体となり実施しています。

表 8

市町村名	R3年度				R4年度				R5年度			
	職員		その他		職員		その他		職員		その他	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
奈良市					1	231	3	60	1	1649*	5	517*
大和高田市					1	7	1	3			1	35
大和郡山	1	19			1	23			1	24	2	40
天理市			1	19			1	19			1	35
橿原市							1	32	1	428*	1	31
桜井市	1	55			6	196			1	25	2	39
五條市					1	164			3	151		
御所市											1	28
生駒市									1	40	2	115
香芝市							2	48	1	40	1	13
葛城市									1	17		
宇陀市											2	38
山添村												
平群町					1	60			1	22	1	41
三郷町	4	87			4	76			2	17	6	180
斑鳩町	1	12			1	24			1	19	1	149
安堵町					1	14						
川西町							1	22			1	19
三宅町			1	7			1	9			1	9
田原本町											1	45
曾爾村												
御杖村												
高取町											1	23
明日香村												
上牧町	1	28	1	33	1	45	1	25	1	39	1	28
王寺町	1	29			1	32					1	18
広陵町							2	43			1	21
河合町					1	31			1	80*		
吉野町												
大淀町			1	20			3	27			1	15
下市町												
黒滝村												
天川村												
野迫川村												
十津川村												
下北山村												
上北山村												
川上村					2	36	1	16	1	17	1	15
東吉野村												
合計	9	230	4	79	22	939	17	304	17	2568	35	1454

\*はオンライン講座を含む

③ 関係機関・民間団体等主催のゲートキーパー養成講座開催状況

表9

関係機関名	R3年度		R4年度		R5年度	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
奈良県教育委員会	1	91	1	110	1	90
奈良県消防学校	1	57	1	42	1	43
白鳳短期大学	1	40	1	40	1	40
ひらく心理相談室					1	25
奈良いのちの電話協会			1	30		
奈良県総合医療センター			1	25	1	37
合計	3	188	5	247	5	235

(3) 自殺未遂者支援

1. 自殺のハイリスク者といわれる自殺未遂者への対策は、自殺を未然に予防するために重要な課題のひとつです。人材育成や関係機関との連携により、自殺未遂者への支援体制を構築することを目指し、研修を実施。

内 容	開 催 日	参加人数	対 象
自殺未遂者支援研修会（基礎編）（再掲） 講義「死にたい」と言われたら 講師 ハートランドしぎさん 院長 徳山 明広 氏	令和5年8月24日	95名	市町村、保健所、精神科病院、教育、児相、警察署、消防署等職員
自殺未遂者支援研修会（学校編）（再掲） 講義「死にたい」という子どもの理解 講師 ハートランドしぎさん 副院長 根来 秀樹 氏	令和5年11月10日	61名	子どもの支援に関わる関係機関（教育・児相・市町村・保健所・精神科医療機関）の職員

2. 救急告知病院・精神科医療機関との連携を強化し、退院後の地域における未遂者支援の充実を図るため、奈良医大と奈良県総合医療センターに出向き入院中の未遂者との面接を実施するとともに、退院前カンファレンスへ参加しました。令和5年度には、5例（実数）に事例について延べ8回対応しました。

(4) 市町村・関係機関支援

市町村が自殺対策に関する計画を策定し、地域の実情に応じたきめ細かな自殺対策を計画的に実施するために、必要な情報の収集・分析・提供を行い、市町村自殺対策計画の推進や進捗にかかる支援を行っています。また、市町村が主催する自殺対策に関連する会議に出席しました。

（4回：奈良市、香芝市、橿原市、教育研究所）



(5) 県自殺対策計画の推進にかかる支援

「奈良県自殺対策計画」に基づき、地域の実情に応じたきめ細やかで効果的な対策を実施するため、奈良県自殺対策計画の推進や進捗管理のために開催される会議等に参画しました。令和5年度は、本庁自殺対策主管課（疾病対策課）が全市町村の担当者を対象に主催した「自殺対策計画策定にかかる説明会」において、**自殺対策支援センター（※）**から市町村自殺対策計画の見直しにかかる支援について説明を行いました。

## 6 依存症対策事業

### ① 薬物依存症治療回復プログラム

平成 28 年度より薬物依存症者の回復を支援するため、全国で先行実施例のある『SMARPP』を活用した集団による回復プログラムを実施しています。令和 5 年度の日程及び参加者は以下のとおりです。

第1回	令和5年 4月12日	10月11日	なぜ薬物やアルコールをやめなきゃいけないの？
第2回	4月26日	10月25日	引き金と渴望
第3回	5月10日	11月17日	あなたのまわりにある引き金について
第4回	5月24日	11月22日	あなたのなかにある引き金について
第5回	6月14日	12月13日	これからの生活のスケジュールを立ててみよう
第6回	6月28日	12月27日 休止 <small>※第6回分12月11日実施</small>	依存症ってどんな病気？
第7回	7月12日	令和6年 1月10日	回復の地図
第8回	7月26日	1月24日	再発を防ぐには
第9回	8月9日	2月14日	再発の正当化
第10回	8月23日	2月28日	回復のために—信頼と正直さ—
第11回	9月13日	3月13日	相手に「NO」を伝えるスキル
第12回	9月27日	3月27日	強くなるより賢くなるう
参加者数 (延べ)	73名	68名	

### ① ギャンブル依存症（当事者）ミーティング

平成 30 年度より試行的に、ギャンブル依存症者に対して「SAT-G」を参考に集団による回復プログラムを実施しています。令和 5 年度の日程及び参加者は以下のとおりです。

当事者グループ

第1回	令和5年4月19日	あなたのギャンブルについて整理してみましょう
第2回	5月17日	引き金から再開にいたる道すじと対処
第3回	6月21日	再開を防ぐために
第4回	7月19日	私の道しるべ
第5回	8月16日	回復への道のり
第6回	9月20日	回復のために～正直さと仲間～
第7回	10月18日	あなたのギャンブルについて整理してみましょう
第8回	11月14日	引き金から再開にいたる道すじと対処
第9回	12月20日	再開を防ぐために
第10回	令和6年1月17日	私の道しるべ
第11回	2月22日	回復への道のり
第12回	3月21日	回復のために～正直さと仲間～
参加者数(延べ)	53名	

② ギャンブル依存症（家族）ミーティング

平成 31 年度より、ギャンブル依存症者の家族に対して同じ悩みを持つ家族同士が意見交換できる場を開催しています。また、必要に応じて回復プログラムを実施しています。令和 5 年度の日程及び参加者は以下のとおりです。

家族グループ

第 1 回	令和 4 年 4 月 19 日	ギャンブル依存症とは
第 2 回	5 月 16 日	イネイブリングをやめる
第 3 回	6 月 20 日	新しいコミュニケーションスキル
第 4 回	7 月 18 日	新しいコミュニケーションスキル
第 5 回		あなた自身の生活を豊かにする
第 6 回	9 月 19 日	本人に相談や治療を勧める
第 7 回	10 月 17 日	ギャンブル依存症とは
第 8 回	11 月 21 日	イネイブリングをやめる
第 9 回	12 月 19 日	新しいコミュニケーションスキル
第 10 回	令和 6 年 1 月 16 日	新しいコミュニケーションスキル
第 11 回	2 月 20 日	あなた自身の生活を豊かにする
第 12 回	3 月 18 日	借金問題における適切な対応について（研修会）
参加者数（延べ）	45 名	

③ ギャンブル依存症者等を抱える家族を対象とした研修会

研修名	テーマ	講師	参加人数	実施日
ギャンブル依存症等対策研修会	「借金問題における適切な対応について」	松本・板野法律事務所 弁護士 板野 陽一 氏	28名	令和5年 9月24日
ギャンブル依存症等対策研修会	「借金問題における適切な対応について」	松本・板野法律事務所 弁護士 板野 陽一 氏	8名	令和6年 3月19日

## 7 災害時対策事業

研修名	実施日	備考
京都DPAT技能維持研修	令和5年10月21～22日	京都府が実施した技能維持研修にセンター職員が参加

研修名	実施日	備考
DPAT派遣にかかるロジスティック担当者研修	令和6年1月11日	令和6年能登半島地震にかかる奈良DPAT派遣を想定し、保健所・精神保健福祉相談員等を対象にロジスティック担当者研修を開催

## 8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築にむけた取組

「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム（『にも包括』）」の構築を推進し、精神障害者等が地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制を実現するため、精神障害を有する方等への支援や、地域課題の解決に向けて、関係機関（者）と協働することや人材育成のための研修会や連絡会を実施しました。

研修会・連絡会名	内容	講師	参加者数	実施日
第1回精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの推進研修会（共催）【再掲】	① 精神科の入院及び奈良県の精神保健対策 ② 精神保健福祉法改正にかか る市町村の役割 ③ 精神疾患の基礎知識	① 吉野保健所 相談員 疾病対策課 相談員・南和カン ファレンスチーム 保健師 ② 精神保健福祉センター 精神科医師	会場30名 Web 16名	令和5年 11月6日
医療機関向け精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた連絡会【再掲】	① 精神保健福祉法の令和6年 度施行について ② 措置入院者等退院後支援の 現状と今後の取組について ③ 情報交換会	① 精神保健福祉センター 相談員 ② 中和保健所 相談員 ③ やまと精神医療センター 前田 智 氏 県立医科大学付属病院 有田 恵亮 氏	41名	令和5年 11月20日
精神保健福祉業務連絡会	① 今後の「にも包括」のすす め方に関する打合せ	① 厚労省「にも包括」構築事業 岩上洋一委員長 厚労省 精神・障害保健課 牧野みゆき主査 やまと精神医療センター 前田 智 氏 支援センターふらっと 楠原 佳恵 氏	20名	令和5年 12月11日
第2回精神障害にも対応した地域包括推進ケアシステムの推進研修会（共催）【再掲】	① 地域カンファレンス支援チ ームの活動及び今後の取組 について ② 「精神疾患の理解と介入の 基礎」 ③ 「アルコール依存症の理解 と介入の基礎」 ④ 事例検討	① 地域包括ケア推進室 ② 訪問看護ステーション Irie 鈴木 啓介 氏 ③ 植松クリニック・多機能型事業 所ぼけっと 大本 淳 氏 ④ 精神保健福祉センター 医師	38名	令和6年 2月29日

## 9 精神医療審査会の開催

精神医療審査会は、公平かつ専門的な見地から、医療保護入院者の入院届並びに措置入院者及び医療保護入院者の定期病状報告の審査と、精神科病院の入院者からの退院・処遇改善の請求の審査を行います。令和5年度の審査状況は、表12のとおりです。

表12 精神医療審査会審査状況

区 分	届出等の 件数	審 査 件 数	審 査 結 果					計	取 下 げ	退 院 等 審 査 要 件 の 消 失	審 査 中	未 審 査
			入 院 等 は 適	他 態 が の 入 院 形 移 行 の へ の 適	入 院 継 続 要	入 院 は 不 適 当	処 遇 は 不 適 当					
医療保護入院の届出 (法第33条第1項)	2,488	2,488	2,488	0	0		2,488			0	0	
定 期 の 病 状 報 告	措 置 入 院 者	1	1	1	0	0	0			0	0	
	医 療 保 護 入 院 者	887	887	887	0	0	887			0	0	
	任 意 入 院 者											
退 院 の 請 求	措 置 入 院 者	7	4	4	0	0	4	1	2	0	0	
	医 療 保 護 入 院 者	78	45	43	2	0	45	18	10	0	5	
	任 意 入 院 者											
処 遇 改 善 請 求	措 置 入 院 者	2	2	2			2	0	1	0	0	
	医 療 保 護 入 院 者	20	9	8			9	6	2	0	3	
	任 意 入 院 者											
合 計	3,483	3,436	3,433	2	0	0	3,435	25	15	0	8	

※審査結果の計=届出数の件数。審査件数については審査により「保留」となった場合も計上しているため、審査結果の計と同数になっていません

## 10 技術支援・関係機関との連携

### ① 講師派遣

関係機関からの依頼により、研修会へ講師派遣を行いました。

研修名	主催者	テーマ 講師	実施日
自殺対策計画策定にかか る説明会	奈良県医療政策 局疾病対策課	市町村自殺対策計画 県の策定・見直し支援体制について 奈良県精神保健福祉センター 精神科医	令和5年 5月11日
郡山保健所精神保健 福祉関係機関連絡会	郡山保健所	困難事例への対応について 奈良県精神保健福祉センター 相談員	令和5年 11月13日
令和6年度奈良県労 働委員会研究会	奈良県労働委員 会	メンタル不調の相談者に対する相談や助言方法について 奈良県精神保健福祉センター 精神科医	令和6年 2月22日

- (1) 対面支援 4件（市町村・関係機関）  
（対象機関で処遇しているケースについて面接相談したもの）
- (2) 電話コンサルテーション 112件（市町村・関係機関）  
（対象機関の職員からの電話による相談）
- (3) メールコンサルテーション 139件（市町村・関係機関）  
（対象機関の職員からのメールによる相談）
- (4) 個別コンサルテーション 5件（市町村）  
（対象機関の職員が来所、又は当方から出向くことによる相談）

### ② 会議等出席

(1) 関係機関からの依頼により、各種会議等へ職員が出席しました

会議名	主催者	実施日
自殺対策計画策定にかか る説明会	奈良県医療政策局疾病対策課	令和5年5月11日
橿原市自殺対策連絡協議会	橿原市	令和5年7月3日
なら被害者支援ネットワーク総会	奈良県警察本部 県民サービス課犯罪被害者支援室	令和5年7月6日
なら被害者支援ネットワーク 少年被害者支援専門部会	奈良県警察本部 生活安全部少年課少年サポート第二係	令和5年9月7日
なら被害者支援ネットワーク 性被害者支援専門部会	奈良県警察本部 刑事部捜査第一課	令和5年10月13日
第1回奈良県保健医療計画策定に掛かる精神医 療のあり方に関する検討会	奈良県医療政策局疾病対策課	令和5年10月26日
香芝市自殺対策連携会議	香芝市	令和5年10月31日
奈良県医療観察制度運営連絡協議会	奈良保護観察所	令和5年11月28日
第1回奈良県アルコール健康障害対策推進会議	奈良県医療政策局疾病対策課	令和5年11月20日
奈良市精神保健福祉連絡協議会	奈良市	令和6年1月24日
奈良県てんかん治療医療連携協議会	国立病院機構奈良医療センター	令和6年1月25日
若年層のSOSを受け止める体制整備事業に係る 自殺対策に資するための第1回有識者委員会	教育研究所	令和6年3月21日

## 11 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療(精神通院)の交付

精神障害者保健福祉手帳は、一定の精神障害にあることを認定して交付することにより、精神障害者の社会復帰、社会参加の促進を図ることを目的としている。また、自立支援医療(精神通院)は、治療のため、通院による精神医療を継続的に要する病状にある方に対して医療費の自己負担を軽減する制度。

令和4年6月末現在の精神障害者保健福祉手帳所持者数と、自立支援医療(精神通院)受給者数及びその詳細は、以下のとおりです。

表13 精神障害者保健福祉手帳所持者数 令和5年6月末現在

等級	1 級	2 級	3 級	合計
精神障害者保健福祉手帳所持者数	2,099	9,766	4,514	16,379

表14 自立支援医療(精神通院)受給者数 令和5年6月末現在

保険種別	社会保険		国民健康 保 険	後期高齢者医療	生活保護	合計
	本人	家族				
受給者数	4,273	4,718	9,257	1,912	3,240	23,400

表15 自立支援医療 ICDコードカテゴリ別受給者数 令和5年6月末現在

ICDカテゴリ	コード	給付決定件数
症状性を含む器質性精神障害	F0	1,057
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F1	590
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	F2	5,525
気分障害	F3	9,480
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	F4	2,107
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	F5	124
成人の人格及び行動の障害	F6	110
精神遅滞	F7	376
心理的発達の障害	F8	1,546
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	F9	720
特定不能の精神障害	F99	1
てんかん	G40	1,764
計		23,400

## 奈良県精神保健福祉センター所報（令和5年度）

---

令和6年9月発行

編集・発行 奈良県精神保健福祉センター

〒633-0062 奈良県桜井市粟殿1000

電話：0744-47-2251

FAX：0744-42-1603

Email：seishin-hw@office.pref.nara.lg.jp